

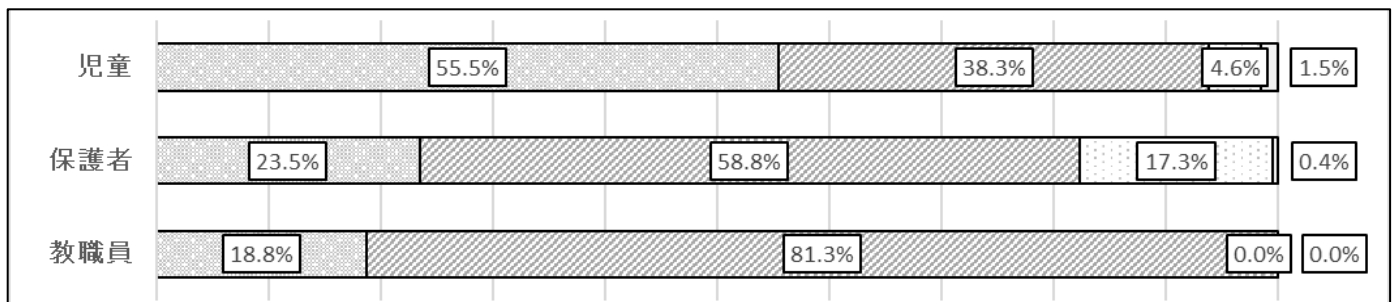
令和3年度 桂小学校 「学校評価アンケート」 考察

令和3年度の1回目の「学校評価アンケート」を7月に行いました。保護者の皆様には、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。今年度は初めて、スマートフォンやタブレットを利用した形式でアンケートを実施しましたが、初めての取組であったためか、回答率は約70%となり、昨年よりも低い回答率となりました。今後もこの形で調査を行っていきたいと考えておりますので、回答率の改善に向けて工夫が必要だと感じました。このアンケートは、桂小学校の実態を明らかにし、よりよい学校運営に活かしていくことを目的としています。回答は「よくできている」「だいたいできている」「あまりできていない」「できていない」の4つの中から選択してもらいました。以下にアンケートの結果を記しますが、「よくできている」と「だいたいできている」を一つにまとめて「できている」、「あまりできていない」と「できていない」を一つにまとめて「できていない」ととらえて考察を行っています。

質問① (児) 授業がよく分かる。

(保) 子どもに基礎的な学力が身につくように働きかけている。

(教) 基礎基本が定着できるようにわかりやすい授業づくりを心がけている。

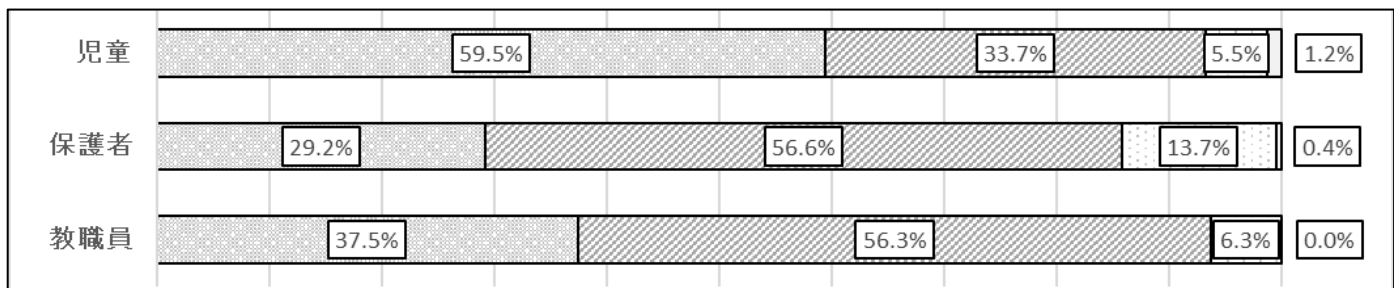


約94%の児童が「授業が分かる」と回答しています。学校の教育活動の多くの時間は授業であるため、とても大切な指標であり、これからも分かる楽しい授業を目指していく必要があります。教職員の回答のうち、「だいたいできている」と答えた割合が高いことも特徴的です。「よくできている」と答えられるよう、よりよい授業を目指して、2学期以降改善していきたい項目であるといえます。

質問② (児) 進んで家庭学習をしている。

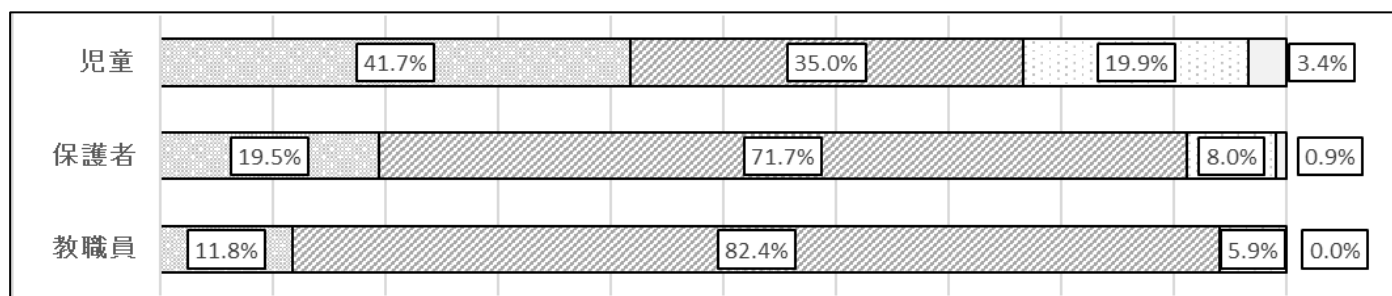
(保) 子どもに家庭学習が身につくように働きかけている。

(教) 家庭学習の習慣が定着するように取り組んでいる。



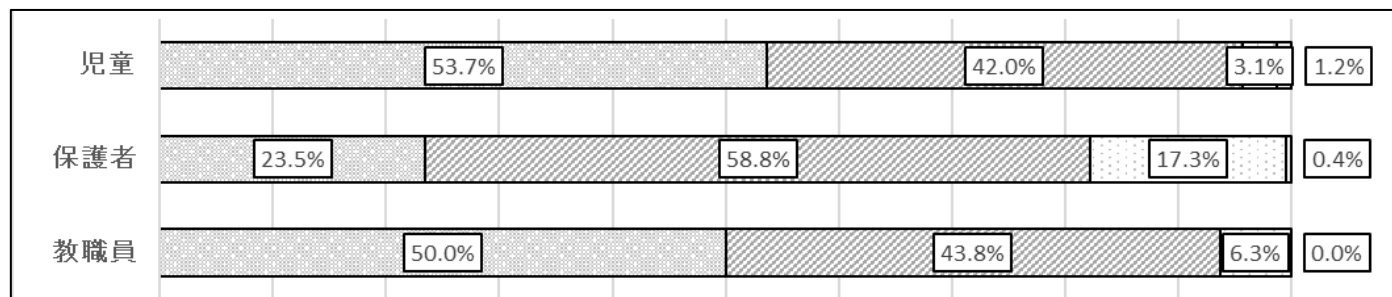
ほとんどの児童が家庭学習に進んで取り組んでいると回答しています。しかし、1.2%ではありますが、できていないと答えた児童もあり、0に向けた取り組みをこれからも行っていきたいと考えています。本校では、「自学できる力」を卒業までに身に付けさせることが大切であると考えており、3年生以上の学年で自主学習にも取り組ませています。家庭学習の意義を児童自らが理解し、進んで取り組めるように継続して指導していくことで、自ら学びに向かう児童が増えてほしいと考えています。

- 質問③ (児) 授業では自分のおもいを伝えることができる。
- (保) 子どもに自分のおもいが伝えられるように働きかけている。
- (教) 子どもがおもいを伝えられるような授業や取組を工夫している。



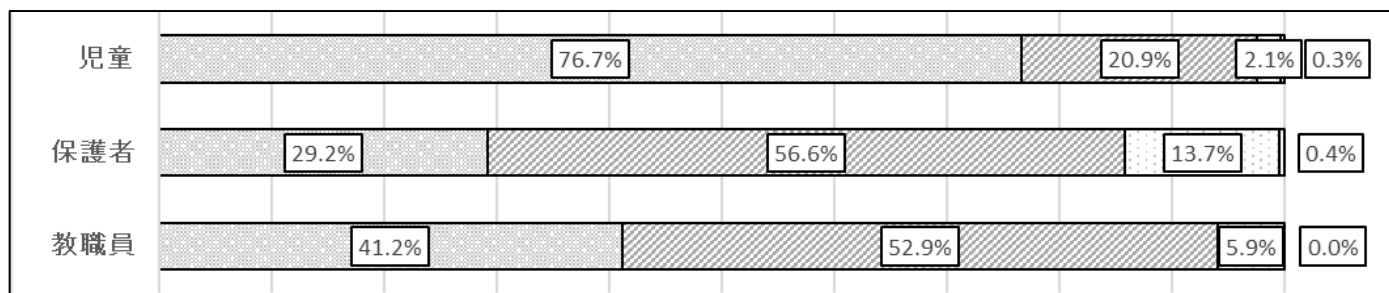
「授業が分かる」と94%の児童が回答しているのに対して、「授業でおもいを伝えられている」と回答した児童は77%となり、17%もの減少がみられました。本校は「伝え合う力の育成」を重点項目として取り組んでいますが、改めて本校児童の課題であることが浮き彫りとなりました。また、教職員のポイントを見ても、「よくできる」と回答した割合が他項目と比べて高くなく、教職員も改善の余地があると感じていることが分かります。さらにこの項目は、保護者の方が「働きかけている」とするポイントも他と比べて高く、保護者の方の意識の高さもうかがえます。どの子も自分のおもいをもち、伝え合えることができるよう、授業改善や学習指導をおこなっていく必要があります。具体的には、課題解決型の課題に取り組ませる経験を増やしたり、集会活動や表現活動の経験を増やしたりするなどの工夫を取り入れることが考えられます。一問一答型の問題には強みをもつ傾向のある桂の児童の更なる成長のためにも大切にしたい視点です。

- 質問④ (児) 学校の決まりや約束を守っている。
- (保) 子どもが学校のきまりや約束を守って生活できるように声かけをしている。
- (教) 決まりや約束を守ること、みんなが気持ちよく生活できることを伝え、適切に指導している。



約96%と多くの児童が「守れている」と回答をしており、みんなが気持ちよく過ごせるように一人一人が意識して学校生活を送っている様子が結果からうかがえます。教職員も「よくできる」と回答した割合が他項目に比べて高く、日々意識して取り組んでいる成果であるといえるのではないのでしょうか。落ち着いた学習環境を維持することは、学習効果の向上や児童が健全に学校生活を送れることにつながっていきます。学級経営の土台となる大切な項目であり、2学期も継続して取り組んでいきたいと考えています。

- 質問⑤ (児) 友だちやまわりの人を大切にしている。
- (保) 子どもに、人を大切にした言葉づかいや行動を意識させている。
- (教) 人を大切にした言葉づかいや行動をするようにしている。

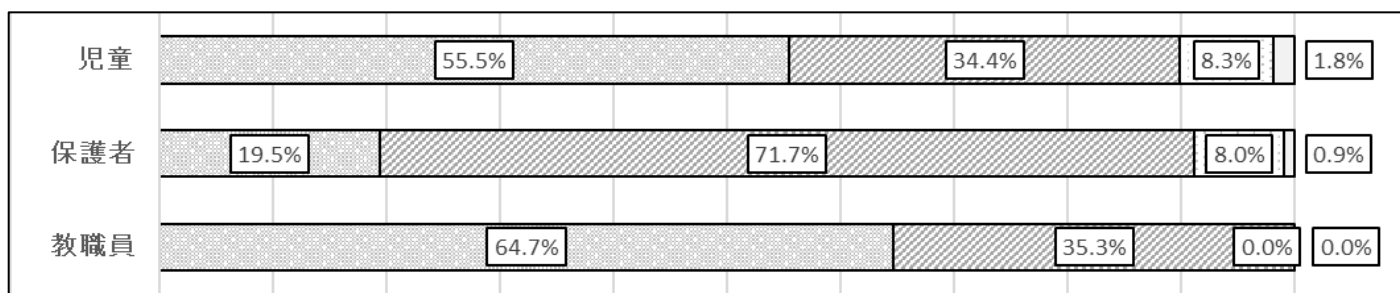


「大切にしている」答えた児童の割合がとて高く、うれしく感じられる結果となっています。6年生が中心となって発信してくれる「桂スタンダード」の取組や、毎月行う人権学習「ともだちの日」、教科化された道徳の授業、そして日々の人権指導。また、けんかやもめごとが起こった時に、互いの思いを確認しあい、自己の行動を振り返らせることを大切にした指導の積重ね。こうした小さな積重ねが、6年間を通して少しずつ子どもたちの人権感覚の育成につながっていくのだと思います。「人を大切にしている」と胸を張れる桂小学校の児童がこれからも増えていくよう、学校での指導も引き続き行っていきたいと思います。

質問⑥ (児) 自分からすすんであいさつしている。

(保) 子どもが自分からすすんであいさつするように、家庭で声かけや自らあいさつをしている。

(教) 子どもがすすんであいさつできるように、声かけや自らあいさつをしている。

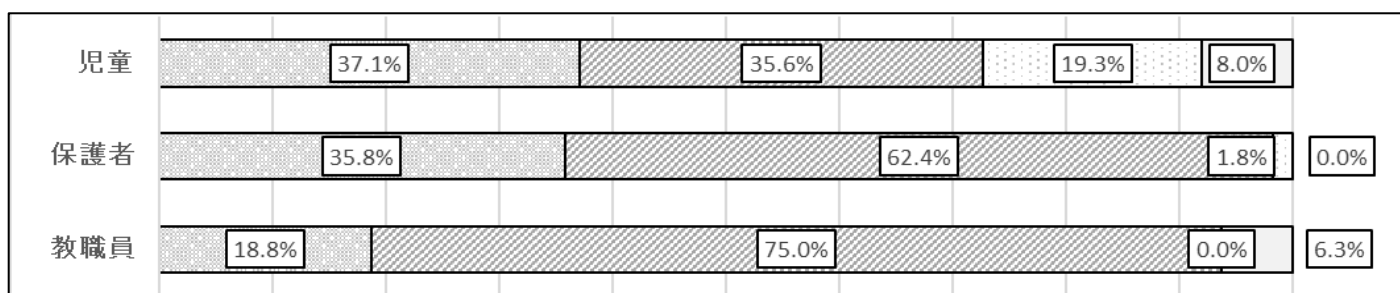


あいさつは人と人をつなぐ大切なものです。本校では、気持ちのよいあいさつの重要性を理解し、そのスキルを身につけて卒業できるように支援していきたいと考えています。教職員の「よくできる」の割合も高く、意識して指導にあたっていることが分かります。毎月25日には「にこにこの日」として、5・6年生が交代であいさつ運動も行っています。しかしながら、1割の児童が「できていない」と回答をしており、児童の自己評価はそれほど高くない結果となっています。本項目でも、保護者の方が働きかけているとする割合が高く、保護者の方の意識も高いことがうかがえます。自然とあいさつが飛び交う桂小学校を目指して、継続して取組や声かけを行っていくことが大切であることがアンケートから分かりました。

質問⑦ (児) 早寝早起きをしている。

(保) 家庭で、早寝・早起きを習慣づけている。

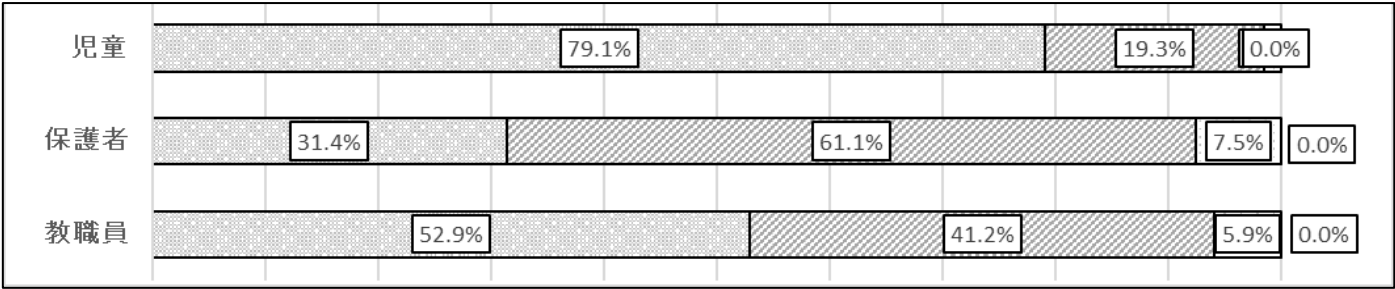
(教) 早寝早起きなどの基本的な生活習慣が定着するように、子どもや家庭に働きかけている。



多くの保護者の方が働きかけているにも関わらず、児童の自己評価が最も低い値となった項目でした。（「できていない」と回答をした児童の割合が27%）テレビやゲーム、最近ではスマートフォンやインターネットなど

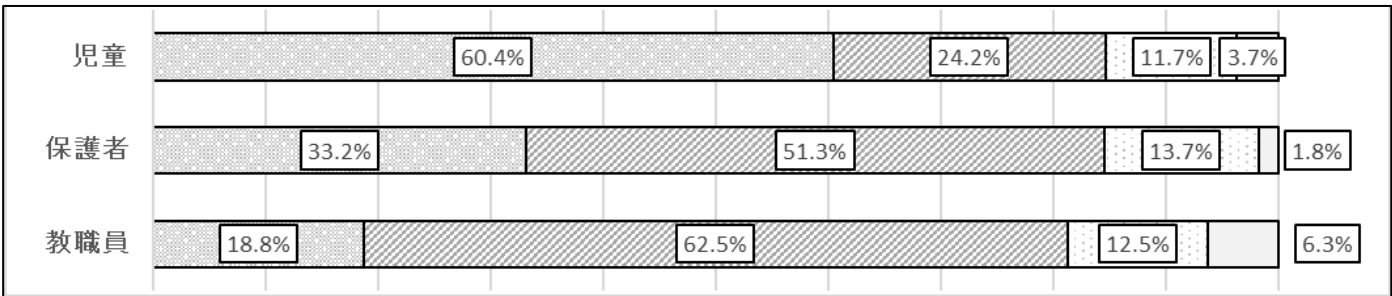
が児童の身近にあり、就寝時間を守ることが難しくなっている状況が予想されます。しかし、小学生の時期は心身の発達が著しく、睡眠や規則的な生活習慣が重要な役割を担っていることを考えると、改善すべき項目であるといえるでしょう。特に夏休みや冬休みは生活習慣が崩れやすい時期でもあります。長期休業の後には、生活調べを取入れ、状況を把握し、改善に向けてアドバイスする取組も行っています。学校での児童の様子を家庭にフィードバックするなど、家庭と学校が協力して取り組んでいけたらと思います。

- 質問⑧ (児) 安全に気をつけ、命を大切にした行動をしている。
(保) 子どもに安全に気をつけ、命を大切にした行動を意識させている。
(教) 命の大切さ、命を守る行動をとることの大切さについて適切に指導している。



児童の自己評価が最も高い項目となりました。子どもたちの安全意識の高まりが本結果から分かり、うれしく思っています。学校が安全な場所であるということはとても大切なことです。本校では毎月、施設の安全点検を行い、不備が確認された場合は教頭先生が中心となって、優先順位をつけながら、すぐに修繕できるよう心がけています。また、自分の命を自分で守れる子の育成を意識して、避難訓練や毎月の安全指導も行っています。また、いじめ問題などに関わる心の健康を大切にした取組も一定の効果をあげていると考えられます。さらに、桂校区では、地域の方の安全指導も積極的に行われていることも、特筆すべき点であると言えるでしょう。地域の方の支援が子どもたちの意識の高まりにつながっていると考えています。大変ありがたいことです。引き続き、熱中症対策や災害対策など、季節や状況の変化にも対応できる生きる力の育成を目指して、これからも継続して安全指導をおこなっていききたいと思います。

- 質問⑨ (児) スポーツや外遊びで、身体を動かしている。
(保) 子どもにスポーツや外遊びで体を動かすように働きかけている。
(教) 心と体を一体としてとらえた体育学習の充実に向け、授業や取組を工夫している。

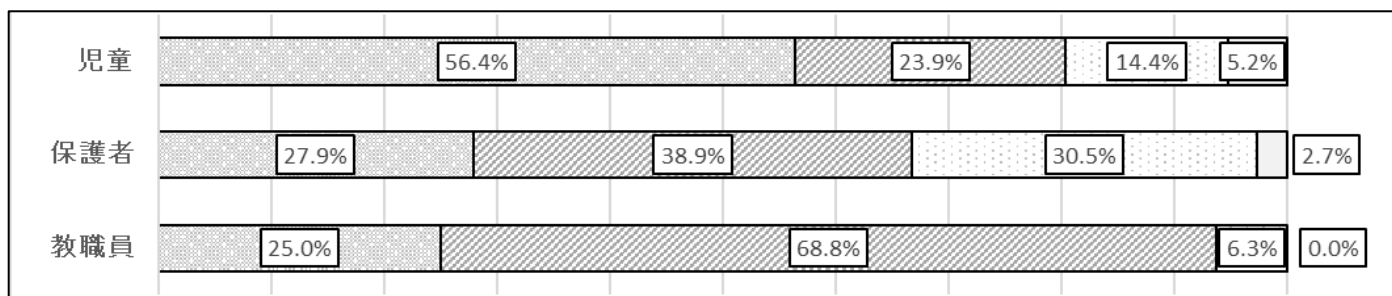


休み時間には多くの子が運動場に出て、外遊びを楽しんでいます。心身の健康維持や、体力向上にも外遊びは有効だといわれています。また、異学年や集団での遊びを通して、ルールを守ることの大切さに気付き、協調性も育ちます。しかし、子どもによっては外遊びよりも室内での活動を好む子もいます。体育の授業では、スポーツや運動の魅力を伝え、生涯を通して運動に親しんでいけるように指導していきたいと考えています。そういった意味で、今年度より教職員には新しい質問項目を設けましたが、教職員のアンケートでは一番低いポイントとなりました。体育学習の意義についても研修を深め、次学期からの活動にいかしていきたいと思っています。

質問⑩ (児) 家で学校でのできごとを話している。

(保) お便りやホームページ、子どもの話などから、学校での子どもの様子を把握するように心がけている。

(教) お便りやホームページで学習活動のねらいや子どもの様子を伝えている。

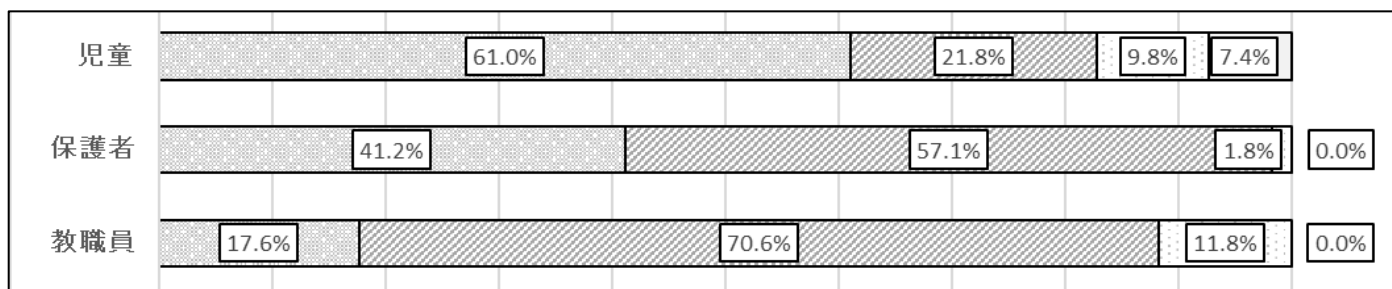


児童アンケートでは、比較的低いポイントを示した質問項目となりました。おおよそ2割の子が「話していない」と回答をしています。学級通信やホームページを通して、学校の様子や教育活動のねらいをお知らせすることは学校の大切な役割の一つです。保護者の方に子どもの様子や学校の取組の意図を理解していただくことは、教育効果を向上させるためにも重要です。高学年の中には、思春期を迎える児童もあり、少しずつ親との距離が遠くなっていくこともあるでしょう。保護者アンケートでも3割の方が「あまりできていない」「できていない」と回答しています。子と親のつながりをサポートできるよう、有意義な情報を多く発信することを目指して、通信やホームページを改善していきたいと思います。

質問⑪ (児) PTA 行事や地域の行事には、楽しみにしていることがある。

(保) 子どもが PTA や地域の行事に参加できるように働きかけている。

(教) 開かれた学校を目指して、地域・保護者と連携・協力することを意識している。

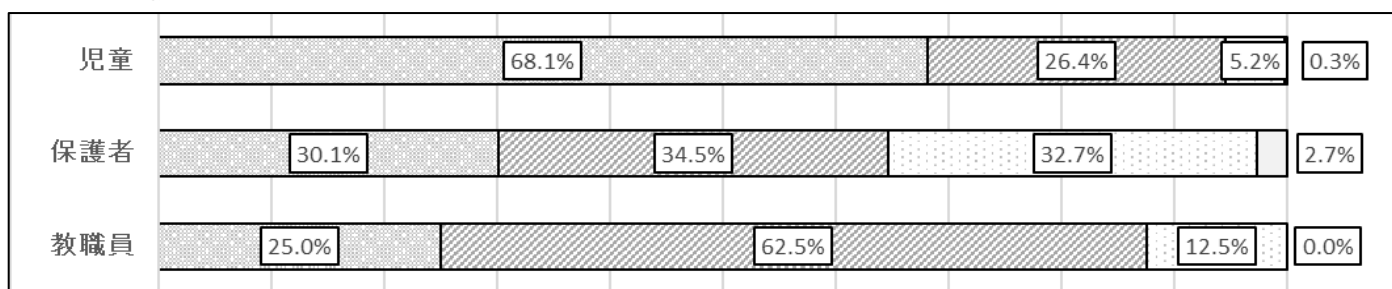


ほとんどの保護者の方が@「働きかけている」と回答をしていました。8月1日には、本校を会場として「ザ・かつらまつり」が行われるなど、いつも地域の方にご尽力いただいて様々な活動をしていただいています。また、PTA やおやじの会の皆様にも、各行事やあいさつ運動に携わっていただき、本当に感謝しております。桂の子どもたちを取り巻く様々な団体が協力しあい、子どもたちのために活動できるようこれからも働きかけをしていただけたらと思います。

質問⑫ (児) 学校では楽しく過ごしている。

(保) 子どもが楽しく学校に通えるように家庭でも働きかけている。

(教) 子どもが学校へ行きたいと思える学級経営を心がけている。

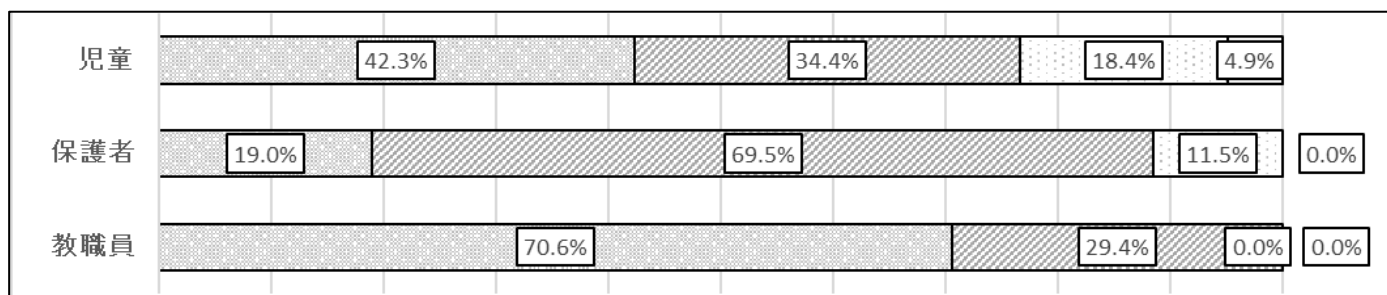


およそ95%の児童が「楽しく過ごしている」と回答をしています。また、「よくできる」に回答した児童の割合が他項目と比べても高い割合となり、多くの子が楽しく学校に通えている様子が分かります。しかし、細かな視点で見えていくと、友だち同士のトラブルや学習に対する不安がないわけでもありません。学校に笑顔で楽しく通ってほしいというのは学校の願いでもあり、親の願いでもあることと思います。本校では、6月と10月にはいじめアンケートと教育相談を設定し、子どもたちの悩みや不安を吸い上げられるようにしていきます。また、日々の観察も大切に、早期発見・早期解決につなげられるよう、学校でも組織的に取り組んでいます。そして、「できていない」と答えた0.3%の児童の思いを改善できるように今後も努力していきます。

質問⑬ (児) 困ったときは、学校の先生に相談している。

(保) 困った時などは学校や担任に、質問したり相談したりするようにしている。

(教) 子どもや家庭から個別の相談を受けたとき、解決にむけて真摯に対応している。



2割の子が、困った時に先生に相談していない、または相談できていないという状況であることが分かります。自分たちで解決方法を見つけようとする、自立した子どもたちであると前向きにとらえることもできますが、成長段階にある小学生は、大人の助けを借りながら経験し、成長していくことが大切です。必要なときに必要な助けやアドバイスが受けられるような学校であれるよう原因を明らかにし、改善していこうと考えています。